

蓬門

蓬田村公民館報
『蓬門』
第34号
行 所 郡 館
森 縣 津 民
村 東 公 館
蓬 公 館
田 館
印 所
刷 所
田 所


役場勤務時間の変更について
変更について
役場の勤務時間が十一月十二日から左記のように変更になりました。
平日 午前八時三十分から
午後四時十五分まで
土曜日 十二時十五分まで



誰よりも早く
新年の初日を浴びて
移り変わる世相をながめつつ
幾歳経るも変ることなく
今年も里人に幸あれと
一筋の雨水を集め
山裾より拓りし美田へ注ぐ
二万石の望みを託して
幾多世代の糧(かて)を
与いつつ
豊 水.....

年頭の辞

昭和三十八年の新春を迎え



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
またあわせて村民各位のご愛顧に深く感謝し、心から皆様のご多幸をお祈り申し上げます。
村民各位のご信任を賜り、

蓬田村長 坂本 大博

村政担当の重責を担つて以来、浅学非才の身にむち打ち、専ら心村政発展のため微力を捧げて三年有半、この間、村政各位のご協力と村政を始めた有志各位のご指導を頂き、また県議員先生のご援助により、

国際経済成長に伴う雇業振興、文藝向上、民心の安定、環境の浄化を目標に、明るい行政、真に住民よび郷土の建設を担って、村民一体となつて努力を行ななければならぬと決意を固めています。
幸いに、あらゆる機会に学びの場、また先輩各位の積極的な指導を頂き、殊に県の推進をうけて自治省及農林省主催の「地方自治及び農政」についての中央研修に参加し、一々研修もしてきました。
これを充分行政の上に生かして行きたと考へている訳であります。
そこで、新しい年への抱負の一端を申し上げ、先づ全村民が健康、明るく、各々の仕事を励み、家庭円満にして平和なまたあな村造りに邁進することと考へております。
建民対策として保健婦活動と環境衛生の充実、診療施設の適正なる運営であります。本年は医療給付も世帯主の七割給付を考へております。
次に経済の成長と雇業の振興であります。農業構造改善事業として改良農具等農業問題の推進に力を注ぎたいと考へております。
新しく組織した促進協議会とともに、持歩を見直し、現実に立脚していろいろな問題の解決等に積極的に検討したいと思つて進めて行きたいと思つております。また、高工、林産、水産の振興に努め、更に就職困難の問題についても、真剣に取り組んで行つて所存であります。
また、教育の面ではすでに教育村蓬田の名を高からしめていますが、学校教育は勿論、青少年教育にも一段と力を入れ、人づくり、村造り施策を進展するために努力したいと考へております。
社会生活の根本は「和」であります。
「和」は即ち愛情であります。人心の機微にふれ、伝統と人情の上に、明るく行政をなし、平和な豊かな村造りを念願するものであります。
同僚村長のご指導、ご援助を賜りますようお願い申し上げます。最後に村民各位の御協力、ご健康をお祈り申し上げます。

年頭の辞

村議会議長 武井 一郎

十日日本事務促進協議会を設立しましたがこれが村理事者と一歩も、又各部のモットウとした深い認識と、その部落地域住民のご理解が肝心であると思つております。具体的事務については村内各部落の促進委員が結成されたならば序々にお判り出来る事と思つておりますが、確実に村民生活向上の実現と言ふ訳には参らなぬと思つております。
国の施策と改善の見方が問題であり、かつ本事業の指定認可を得るには地域住民の熱意の外ならないものと、思つては居りますが、果敢でも大きく取り上げべき処であると思つて、幸へに本村は総べて村民のご理解あるご協力によつて、

新年あけましておめでとうございませう。
新年というものは何とはなしに、新構想や希望がおのづから湧いてきて、今年はどうあらうと、かかこうしたいかと思つたものであります。
「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」とも言われ、古き、開き古き言葉に格言であり、新年になり、そして、何か一種の新鮮さが感じられます。
定まつた時に正確にめぐつてくるものでありながら、それについてお正月になると心向がたまり、希望が満ち、進歩向

上への意欲が湧いてきます。「新年」という時は過去のあらゆるやりとを消し、新しい出発の機会を人に与えてくれるのであります。
「教育を住民の手に」という理想を、かかげて発足した教育委員会制度も、昭和三十一年九月で十周年を迎え、一応の基礎づくりともいふべき段階も、本年は更に次の段階へ進む最初の年であります。戦後の新しい憲法に即し、個人の尊重、教育の機会均等といった大きな目標に向つて、足したものの、幾多の障害に直面し、苦難と窮乏の十年間であつたかと思ひます。
また今後に残された問題にしても、教科書無償の問題、教員定数の基準の問題、高等学校の急増の問題、更には、学力調査の問題、道徳教育の問題等が山積しているものであります。
幸にして本村は、村理事者をはじめ村民各位の、教育に対する理解と熱情に恵まれ、着々とその成果をあげておりますことは、誠に同慶にたえないところであります。
一校一校の理想的環境のもとに施設設備、各小中学校において近年著しく向上、県下有数の施設設備を誇つております。
しかし、新しい時代の新しい教育を進めてゆくためには、今後幾多の課題を残しております。
一つは社会教育の問題であります。もし、新しい社会教育の考えられ、かつ、二義的に考えられ、かつ、社会教育であります。人づくり、村づくりの叫ばれて、この今日、この問題について、一つは真剣に考えなければならぬのであります。
平和な村、豊かな村、言葉をかえて言えば地域住民の「あつましい生活」を築きあげて

に附随する必然的現象はとも、角として謙虚と誠実を心とし、事に臨み理事者と共に村政全般に亘り内容改善充実に最大の努力を傾注する處存であります。何卒変わらぬ倍旧のご指導とご鞭撻を切にお願ひ申し上げます。
明後日、一九六三年がみなさまにとりまして最良の年であり、ますます心から祈ります。
いささか所感を述べてご挨拶いたします。

記

三十八年度重点目標

- 一、国有地の解放
- 一、国民年金の還元策の保育所問題
- 一、農家全戸の共同炊事
- 一、機械化利用組合等の設立の進め方
- 一、学校統合(中沢校、蓬田老朽による)
- 一、教育行政の確立(他町村にくらべて)
- 一、土地の高度利用、基盤整備の急務

ゆくためには、この社会教育を推進してゆかなければならぬのであります。
昭和三十八年の年頭、新しい希望、新しい意欲をもって、めい／＼自分の生活設計を立てると共に、自分のこれから進むべき道、日本の進むべき道についても真剣に考へて、世界の平和と文化の進展のためにつくす覚悟をあらたにしなくてはならぬと思ひます。

敬老年金の支給は 八十五才から

県では、これまで八十八才以上の方々に敬老年金を支給してきましたが、十月からは年令を三才引下げて八十五才以上の方々に支給することになりました。
金額は年に三千六百元支給されます。
くわしいことは役場厚生係におたずねください。

役場厚生係

第十五回

蓬田村農林水産物

総合品評会開く

蓬田村農業協同組合、蓬田村公民館主催による第十五回蓬田村農林水産物品評会は十一月十一日蓬田小学校において開催された。

今回はこれからの本村の農業経営の合理化、かつ近代化して行く意味から、俵米、株稲、吠、ネギ、かんらん、白菜、長芋、人参、ごぼう、てんさい、馬鈴薯の十一品種を特に奨励品種とし、その他の農林水産物、農村食、絵画、羊工品等は参考品種とした。

Table with columns for award level (一等, 二等, 三等), item name (e.g., 俵米, 白菜), village (e.g., 長科, 中科), and name (e.g., 小留吉, 小昭夫).

蓬田音頭歌詞懸賞募集

かかれてから有名な人による歌詞と作曲を依頼することに努力中であつたが都合により村民から広く募集することになりました。

- 一、形式 自由
一、内容 蓬田村の風物、民情を織りこんだもので発展的意図に富み、近代的で村民のみんなが明るく楽しくうたえるもの
一、メロ 二月末日
一、審査 審査員を依頼し審査に当る

一、発表 三月中旬
一、入賞 入選 一編
賞金 三、〇〇〇円
三十七年度
十二月一日
女子青年建設班開講す
中心にして耕耘機の操作、発動機の構造操作、一般教養も昨年より強く取り上げ計画されて...

審査を終つて

審査長 張間 亀 男

本共進会の趣旨とするところは、当村在住の農家が丹精こめて作ったものを一堂に陳列して優劣を競い、それが技術の向上、品質の向上となり、当村農漁業の振興、経済の安定を確立することであり、審査に当たつた私達としては、審査を決めるのに大変苦心した次第です。

昭和三十八年度 成人式のおしらせ
昭和十七年一月十六日(昭和十八年一月十五日)までに生れた方は今年度二十才になるわけで、それをお祝ひする式を一月十五日蓬田小学校で行なわれることになりました。

民生児童委員改選さる

十二月一日付で民生、児童委員が改選されました。

民生委員は厚生大臣から委嘱されるのですが、更に知事が担当市町村を定めることになつております。
また民生委員を委嘱された方は、自動的に児童委員を兼ね、任期は三年です。

遺族会役員会開催さる

十二月十一日午後一時から蓬田村役場会議室に於て開催された。

引揚給付金等支給法の改正について
引揚給付金等支給法の改正によつて、つぎの三項目が支給権者として新たに加えられるので、該当者は至急請求するようお知らせします。
(1)昭和二十年二月十六日以後外地で生まれ引き続き終戦まで外地に生活していたもの
(2)終戦の日まで引き続き六ヶ月以上外地に生活していた者で引揚後の死亡年

引揚給付金等支給法の改正について
令が満二十才以上三十五才未満であつた者の遺族給付金
(3)国の施策、軍の疎開命令によつて、外地へ渡航して終戦まで外地で暮らした者
(4)昭和三十八年度の総会開催日程は一月中に開催すること。

蓬田村内各部落農業指導者

東北、關東地区農業視察録

蓬田村村長 坂本大博

近年における第一次、第二次産業の伸張は目ざましいものがある。他産業がどんどん進歩発達する中であつて、農業だけが取り残されようとしてゐる。

当地方の農業経営面において、その労働力は、第二次、第三次産業へ吸収されていき、第三次に農業労働力の欠乏が目立ち始めてゐる。また、零細かつ未区画整理耕地は近代化を要求され、経営の機械化合理化が叫ばれながらも、その解決には、まだまだ程遠い現状である。従つて農業経済は日増しに他産業との格差を振りかざし、ますます悪化して来た。これは、遺憾である。

政府は昨年六月最悪の条件下にある日本農業を、国の責任と農民一体の力を基調として振興せよと、農業基本法を制定した。そして十年計画をもつて日本の農業を世界の水準まで高め恒久的農業の基礎の確立を期して、新農山振興三ヶ年計画を打ち切ると共に、農業構造改善事業を押し進めることになつたのである。そこで村としてもこの農業構造改善事業の重要性に鑑み、本年度当初予算に相当額を計上して試みた視察である。

視察参加者については、(1)各部落一名当り (2)農業従事者であること (3)年令は三十代(又は四十代)であること 右のうちで理解と指導力実行力に富める積極的な人物といふ一応の基準で、村勸業、農協改良普及事務所協議の結果参加者を選考した。

第一日程 (1)大曲南部産米改良組合(ライスセンター)

日中の気温は三十六度以上。一行は汗だくで飯詰駅下車、土地の者に場所を聞いた、敷キヨ以上あるとのこと。折よく来合せたバスにのり、直ちに大曲南部改良組合に向う、このセンターは、隣接三農協が共同で経営してゐる。この地方の水田耕地は本村より少なく、二町歩以上のいわゆる大田作りは部落で一、二戸のこと。従つて平均反別も少い。しかしその殆んどが区画整理(一反歩区画)されてゐる。反取も格別多いという訳でもなく、本村の稲作栽培技術と大差のないような印象を受ける。又、部落戸数も一、三十戸程度である。

センターは新農村事業で施工し、規模は一度に五百俵乾燥、直ちにベルトコンベアーで精米機からその場で供米が包装される。生産者は刈取二、三日で脱穀すると現場から農協の自動車でセンターに運ばれ、仕上げと同時に倉庫入り迄全部請負の作業である。乾燥機の中にあるうちに等級も定められ、立会人は本人の希望があればする程度、農繁期中の人手不足の上から誠に合理的である。経費は予約で一戸当り一五〇円あればよいといふ。

年間供米量は、三農協で一五〇〇〇俵、本村に比較して半分弱といふところである。一行が訪れた時、センターでは四台の機械で盛んにカマスを織つてゐた。勿論網の仕上げまで取付けられてゐるが、ここで供米時までに必要数一五、〇〇〇枚を準備する訳だが、職工は全部やつぱり最近百姓へ嫁の来手がなく、就職出稼ぎが増えて来たことであつた。程なく来合せたバスに乗り、飯詰駅に至り、伺つて見たところ大田村までは三里ぐらゐあるとの事、取り急ぎタクシーに便乗かけつけが、止つたところは仙南町役場。先着者の話ではここではなく、大田村役場でないかと駄目だといふ。ひとまづ仙南町役場で次の乗物を都合することになつたが、役場は設備からサーピスから仲々立派な役場で収入役と勤業係直々のもてなしに一同恐縮した。程なくタクシーの都合がついて目的地の大田村役場に向う。途中、見事に区画整理された田園を眺望しつつ、二十分程して大田村役場に到着。大田村役場は二ヶ村合併だそう、田園の中の殿堂といつた感じであつた。

やつぱり最近百姓へ嫁の来手がなく、就職出稼ぎが増えて来たことであつた。程なく来合せたバスに乗り、飯詰駅に至り、伺つて見たところ大田村までは三里ぐらゐあるとの事、取り急ぎタクシーに便乗かけつけが、止つたところは仙南町役場。先着者の話ではここではなく、大田村役場でないかと駄目だといふ。ひとまづ仙南町役場で次の乗物を都合することになつたが、役場は設備からサーピスから仲々立派な役場で収入役と勤業係直々のもてなしに一同恐縮した。程なくタクシーの都合がついて目的地の大田村役場に向う。途中、見事に区画整理された田園を眺望しつつ、二十分程して大田村役場に到着。大田村役場は二ヶ村合併だそう、田園の中の殿堂といつた感じであつた。

蓬田村国保保健協力員辞令交付式



蓬田村の保健活動の協力者として去る九月十二日、若佐イセ、坂本ヨシ、藤本みき、藤本富代、森サキ、野藤あい、津島昭恵、清水キクエ、宮田たき、畠山みさお、大宮マツ、田中トキエ、久慈イト、山口チエ、佐井キ、久慈リセ、高橋ちたの十八名が委嘱された。

生憎当日は、村長助役とも不在で、総務部長、区画整理係長と県派遣担当技術職員に会い、本視察団の顔ぶれを紹介し、目的等を申し上げあひさつた。ついで種々細部にわたつて説明を頂いた訳であるが大変親切な、また真剣な説明で得るところが多かつた。大田村の区画整理事業は村直営の全村施工計画であることが一つの特色である。事業の沿革は未整理地区一、七八〇町歩にあつては、現在まで区画整理事業の必要性を受益者すべてが痛感し、再度計画されたもので、現在は部分的に行われてゐるが、本計画の如く全村一本の計画に至らなかつた。しかし時代の変転に伴い、農業形態も年々変化し土地の利用度を増進することが急務となり、昭和三十一年度より本格的に調査に乗り出し、三百万余円の多額の経費を費して計画を完了、昭和三十三年度より事業に着手して現在に至つてゐるといふ。ちなみに大田村の概要を申し添えるならば旧長信田村、旧

(右全) 以上大田村の事業の概要であるが、特に得た教訓としては各工区(部落)に推進委員会を作り啓蒙した事、特に農林省開拓地の整理田に刺激を得た事、村直営の場合各工区受益者に積極性が乏しい事等である。

但し統合的な農村造りとして考えればよきもあるが、施工段階において各工区毎に責任を与え、それを村が統轄指導援助する方法も一案と考えられる。従つてこの工事の状況はまかせきりである様で農民個々の労働賃金換元が何等見受けられない。土工不足の今日、どうかと思われる点は県派遣職員も認められてゐた。尚事務体系は役場職員四名、県派遣技術職員一名、臨時職員は各工区一名計七名である事務的説明の後一行は役場小型自動車で県派遣職員に案内されて全地区の实地視察を行つた。

横沢地区から成り、北方は音内川を界とし東方は奥羽山脈のふもとまで、南は真昼川を界とし西方は仙北村旧横堀中前町旧清水地域の町界までである。地区全体は地形を型どり中央部に農林省田沢疎水開拓地があり、西方に広がる通風陽光の利をそなえ、水田稲作経営としては恵まれた地区である。この計画は広範囲であるためそれぞれ立地条件が異なる関係上七工区に分割して計画され、しかも一貫した計画の下に用排水路および道路を設置したものではないため、幾多の重複、又工区も異なり不便な

- 蓬田村役場 村長 坂本大博 助役 田中一雄 収入役 八戸倉次郎 評価委員 柿崎喜代作 外職員一同

- 蓬田村教育委員会 委員長 久慈留太郎 代理 細谷与三郎 委員 八幡周太郎 森井光秀 福井慶造 高田一二 坂本豊水 公民館長 坂本みさ 連合婦人会長 森崎良一 連合青年団長 吉崎

- 蓬田村議会 議長 武井一郎 議員 佐井幸四郎 坂本貞教 坂本甚五 坂本彌九郎 倉谷八太郎 八戸要助 吉崎慶次郎 大宮金助 加藤喜代作 山館誠弘 山口与八 山中吉兵衛 稲葉善助

新年賀謹

第二回全国農村青年

中央研修会に参加して

蓬田村大字中沢 坂本重彦

全国農村青年中央研修会には、日本産業開発青年協会の主催で十一月十四日から十六日まで三日間、岡部市市立中央青年の家で開かれた。当村からは坂本洋一君と小生と、はじめての参加であり、また中央青年の家は、どんな目的で、どんな建物か、研修会の目的も内容等もはつきりと把握もせず、ただ自分の人生感と将来の農村を考えると何かしら我々青年の夢をぶちこわされる様な、この不安な気持ちをどうする事も出来ず何かこの機会に我々農村青年に夢と希望をあたえてくれようとする、と大きな期待を持って中央青年の家の門をくぐった。

中央青年の家は日本一高く又美しい富士山をバックに海拔七一五mの所にあり、東富士の演習の真中にあり立派な美しい建物であった。でも「ドカン」という大砲の音に窓ガラスがガチャ／＼と、屋根も、ビシツという爆音には度々を抜かれた。中央青年の家の約束事項として、

- (1)人にめいわくをかけない事
- (2)規律正しいおりのついでた生活をする事
- (3)自発性の生活をする事

食卓等でもリラックスですべてアタラーサービスであった。起床は六時三十分、消灯二十時その中にはビシツリ日程が計画されむしる生活生活の様に見えるが、参加人員は一〇八名で青森県からは五名平均年齢が二五

二六才位でただ一つおどろいた事は主軸になる農業従事者があまりにも少ない事であった。日程表にしたがつてその内容に小生の考えている事を付け加えて御説明いたします。十四日開会式の後十四時より明治大学寺田由永先生の講義「自由化の下における日本農業の現状と将来」というテーマでお話された。OEEC、EECが大きく伸ぶのに我が国でも貿易自由化がすすむにつれその影響は大きなものになる。炭労、自動車メーカー等の設備投資過剰が目につく。例を上げると自動車メーカー、トヨタ、ニッサンの競争その前にカルテル、トラストという様な共同化体制で産業全体へ国家資本投資の手当が必要となつてくるでしょう。その様な現状において農業はどうなるであろうか?直接的影響として日本より安い作物がど／＼入つて来ると生活が出来なくなるでしょう。間接的影響として恐慌に当る可能性が充分にある。それは自由化して産業が栄えれば農業から産業へと人の移動が考えられ、又反対に悪くなればその逆になるでしょう。その中で今の日本の現状は生産コストを比較してみても先進国は高労働大規模で低コストである。また後進国は低労働で極端

他の条件もあるでしょうが、現在の青年団をむしる国民が必要としないのでは無いだろうか。その証拠として新聞が我々の期待と比較してあまり大きな見出しとして取りあげない。これも一つの社会現象の表れである。それはあまりにも目的が過大でそれに対して手段に欠けていっているのではないだろうか。ネズミに大砲の様なものである。これからは目的集団に青年団も変え根本的活動は上からの押しつけでなく、下からの盛り上がりなもので、地域性を生かし、多種多面の人の集まりではあるが、皆んなが一致している。

レクリエーション、個人的なものまで見いだし、それを気軽に実行出来る皆んなのいい場所である事が大事だと思ふ。それから皆んなの意見を聞き、政治、経済、農業技術等の学習活動に入つて行く事がポイントとあがる手段の様に考えます。歴史的に見て特に今の農村青年ほど重い使命をおぼされておられる者がいない様に感じます。勉強する事を忘れない、妥協する事のない健康な青年になる努力をいたします。十時より岩手県胆沢郡、胆沢町青年建設班補道者渡辺勲さんが「私の構造改善と建設班活動」というテーマで特に水田の乗用トラクターによる機械化部隊について発表された。

- (1)土地所有者の問題
- (2)人と人の社会問題
- (3)土地所有の形態の歴史
- (4)土地所有の問題
- (5)人と人の社会問題
- (6)土地所有の形態の歴史

その様な現状において農業はどうか?直接的影響として日本より安い作物がど／＼入つて来ると生活が出来なくなるでしょう。間接的影響として恐慌に当る可能性が充分にある。それは自由化して産業が栄えれば農業から産業へと人の移動が考えられ、又反対に悪くなればその逆になるでしょう。その中で今の日本の現状は生産コストを比較してみても先進国は高労働大規模で低コストである。また後進国は低労働で極端

上野清先生がお話しされた。農業を好きで行なっているか嫌いで行なっているかは天動説と地動説にひとしく、嫌で農業をされている者、また我々が楽しい生活を望むイデオロギストには協同化は不可能である。日本の農業の行き詰まりの原因について個条書にします

- ①農業経営だけが普通に行われている
- ②指導のあり、多角化経営から一本化経営、また競争主義
- ③協同精神の崩壊
- ④資本効率の低下
- ⑤労働効率の低下
- ⑥土地利用の低下

この六項目は二十世紀の奴隷の条件でありまた貧乏の条件にもなる様です。この条件から脱皮するために次の新しい農業の理念が必要で、

- ①立身出世主義からの自己解放
- ②所有主義から利用主義への移行
- ③収入の増加
- ④共存共栄
- ⑤八時間労働
- ⑥経営の安定

新しい農業には指導者はない。只先駆者あるのと呼び我々を励まして、以上の様な事をお話しされた。

三日目十六日九時からシンポジウム「あすの日本をどうするか」というテーマで、社会福祉制度について和田耕作先生、あすの農業について豊登先生、あすの日本経済について加藤憲先生、司会高木那雄先生のもとに皆んなの質問に対して時間一杯まで答えられた。

短い三日間ではあつたが、われわれに多くのアイデアと今の日本を聞き誠に有意義なものであつた。

人間が人間らしくいきるためにこの人生に一体何があるのか、また偉くなくともい百

若人の

現代のエチケツト

病氣見舞の花

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男と女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

若人の

現代のエチケツト

病氣見舞の花

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

若人の

現代のエチケツト

病氣見舞の花

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

若人の

現代のエチケツト

病氣見舞の花

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

男は車道に近く、女が街頭をつれたつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むかし往來を馬車が行つた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができ都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。